

# 研修だより

帯広市立啓北小学校  
NO.5 令和5年6月30日(金)  
文責 吉田  
テーマ「提案授業を終えて」  
授業者：くりのご学級 木村綾先生

## 自立活動：くりのご学級5年「くりのご夏祭りを楽しもう」

特別支援部会では、6月23日(金)の4時間目に、木村綾先生に授業を公開していただきました。今回は、「くりのご夏祭り」で「相手が嬉しい声掛けをしよう。」という目標を設定して授業を行いました。運動会や昨年の夏祭りなど、児童が体験した具体的な場面での気持ちや言葉掛けについて考えさせることにより、相手や場面に合わせた対応の仕方について考えることができていました。動画の視聴、写真や表情を表す絵などをたくさん取り入れて可視化を図っていました。児童が活動内容をより明確に捉えることのできる工夫が、たくさん詰まった授業でした。

### 研究の柱Ⅰ 見通しと振り返りの工夫

#### 【内容①-1 学校生活と結びつけた課題設定 ～学級行事を取り入れた設定】



毎年行っていて楽しみにもしている学級行事について課題を設定することにより、児童は必然性を感じ、より自分事として捉えながら、学習することができていました。

#### 【事後研より】

◇学校行事を取り入れた設定

- ・緊張感の中で夏祭りへ目的意識をもって単元構成をしているのがよい。
- ・運動会や昨年の夏祭りについて、振り返って考えることがよかった。

#### 【内容①-2 振り返り工夫 ～目標シートの活用】

「つながる」では、「やってみよう!!」という目標シートを使用して、振り返りを行いました。毎時間このシートを使用することにより、これから行う学習について、見通しをもって取り組むことができるとともにこれまでの学びについても振り返ることができるようになっていました。

#### 【事後研より】

- ・山登りの形を取り入れることにより、達成していく感じが出ていてよかった。
- ・振り返りが、自分の言葉で書けるとよかった。
- ・子ども達のどこを伸ばしてあげるか、明確にしておく。

### 研究の柱Ⅱ かかわり合いを活性化させるしかけ

#### 【内容② 日常的に他者と関わり合うための環境設定 ～役割演技を基にした交流】

動画を視聴して、適切な言葉掛けについて学習した後、昨年の夏祭りの写真を活用して、役割演技を行いました。

#### 【事後研より】

- ・適切な言葉が思い浮かばない児童へ、選択カードを使用するのがよかった。
- ・実際に自分たちが昨年行ったことを基に考えさせるところがよかった。
- ・前に出た児童の、「声を掛けてくれない。」と言った発言を取り上げると、考えを深めることができた。
- ・正解を知ってからよりも、1回目に動画を止めた後に役割演技を行ったほうが、児童の関わり合いが活発になる。



### 研究の柱Ⅲ 個の学びの充実

#### 【内容③ 個別の指導計画と結びつけた指導の工夫 ～動画や各種掲示物の活用と板書の工夫】

動画や行事の写真に加え、表情を表す顔のカードなどを取り入れていました。また板書では、掲示物の貼り方や色遣いにも配慮していて、児童の思考の手助けとなっていました。

#### 【事後研より】

- ・顔カードを使用することは、感情の読みとりが困難な児童に有効。(児童のどこを伸ばすか明確にする。)
- ・語彙力を付けるために、これから、嬉しい言葉・悲しい言葉等の学習を進めていけるとよい。

